

梅雨時期の防除について

福光フルーツ生産者協会
福光農業協同組合
富山県砺波農林振興センター

1 概況

北陸地方は6月10日頃梅雨入りしたと見られます（前年より12日早く、平年より1日早い）。果樹研究センターでは、ふじの果実肥大は6月23日（満開後60日）現在、横径44.9mm（前年比92、平年比95）とやや小さい状況です。

2 防除について（ふじ基準）

梅雨期間中は、引き続き褐斑病の重点防除時期となり、輪紋病の重要防除時期でもあります。下表を参考にして定期防除に努めてください。また、降雨前散布を心掛けるとともに、防除間隔が10日より長くなるよう注意してください。

ハダニ類は高温・乾燥が続くと多発しやすくなるので、発生初期の防除に努めてください。なお、殺ダニ剤の散布前には草刈りを行い、ハダニ類が樹上へ移動した後に殺ダニ剤を散布しましょう。

薬剤は、散布ムラの無いよう、ていねいに十分量を散布（※1）してください。

※1：農薬散布時は周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯等、十分注意してください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤（※2）	使用倍率	100% [※] 当たり薬量
7月7日頃	褐斑病、斑点落葉病	ユニックス顆粒水和剤47	2,000倍	50g
	輪紋病	ベフラン液剤25	1,500倍	66mL
	アブラムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100g
7月17日頃	褐斑病、輪紋病、炭そ病、斑点落葉病	ダイパワー水和剤	1,000倍	100g
	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	50mL
7月27日頃	褐斑病、輪紋病、斑点落葉病	ドキリンフロアブル	1,000倍	100mL
	カメムシ類、シンクイムシ類、リンゴワタムシ	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	25g

※2：展着剤を加用すること（マイリノーの場合 10,000倍（10mL/100リットル））

- 農作業に当たっては、こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意してください。
- 脚立での作業や、農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。